

地域社会や社員とのかかわり

新型コロナウイルス対策の取組みや地域社会への貢献、社内活動を積極的に推進しています。

新型コロナウイルスへの取組み



基本方針

社会のサプライチェーンを支える当社にとって、お客様やお取引先様、社員とその家族をはじめステークホルダーの安全確保と新型コロナウイルス感染予防の対策は欠かせません。当社では、感染拡大の防止策、感染リスクの低減策として、警戒レベルの設定や通達による注意喚起等を実施しています。

警戒レベルは3段階あり、会議スペース共有人数やソーシャルディスタンス、週間出勤日数を具体的な数字で設定しています。警戒レベルや感染が疑われるときの対応などは、随時全従業員に通達されます。

対策は事務所だけでなく、各工場でも徹底しています。受付には感染予防のポスターの掲示やAクリル板を、お客様も使用する屋外トイレにはアルコールクリーナーを設置しました。また、お客様および従業員の入室の際には、入口に設置した検温システムにより水際対策を行っています。

社員を守る

- 時差出勤、在宅勤務、Web会議の導入
- 通達による注意喚起
- 警戒レベルの設定(3密の排除)
- 検温システムの導入

お客様を守る

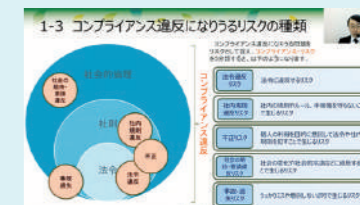
- 検温システムの導入
- 工場での受付用Aクリル板の設置
- アルコールクリーナー、手指消毒液の設置
- 感染予防啓発ポスターの掲示

e-ラーニング研修

当社では、2020年8月より、従業員の知識と業務スキル向上により会社全体の生産性向上とレベルアップにつなげるための社員教育としてe-ラーニング形式による研修を開始しました。

テーマは月ごとに変わり、「コンプライアンス研修」や「新入社員ブラッシュアップ研修」などをシリーズで実施しています。教材はグループ会社の(株)フルハシ環境総合研究所が作成し、学習効果が高い動画教材を採用しています。

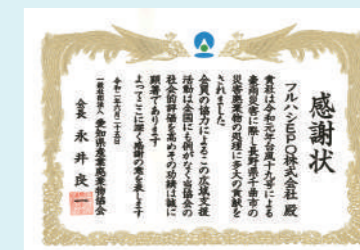
従業員全員が格差なく研修を受け、知識・スキル向上につなげられるよう、今後も積極的に実施していきます。



動画教材(コンプライアンス研修)

災害廃棄物の受入れ

2019年10月に発生した台風19号で被災した長野県千曲市の災害廃棄物を、(一社)愛知県産業廃棄物協会の一員として広域支援による受入れを行いました。当社では愛知第二工場(弥富)において、2020年1月から3月にかけて木くずを受入れ、処理を行ったことで感謝状が贈られました。また、2019年9月に発生した台風15号の被害を受けた、千葉県南房総市および鋸南町でも昨年から継続して受入れを行いました。



感謝状

メッセナゴヤ2020オンラインへの出展

2020年11月16日~12月11日に開催された「メッセナゴヤ2020オンライン」に出展しました。当社サイトブースは、「資源の有効利用を通じて持続可能な低エネルギー社会の創造に貢献する企業」をテーマに、木質バイオマスの資源循環利用からエネルギー発電まで、また建設副産物のリサイクル利用や環境配慮の物流製品の販売など、当社グループの事業全般を紹介しました。会社紹介だけでなく、当社のSDGsへの取組み動画や事業内容説明資料も掲載し、営業担当がオンラインでの商談アプローチ活動を行いました。



フルハシEPOグループ事業概要

地域清掃活動

2020年11月に実施された名古屋港管理組合飛島地区・弥富地区秋季一斉清掃に、愛知第二工場(弥富)と飛島リサイクルパークの従業員が参加しました。また、地域一斉清掃に限らず、三重工場および広島工場において、工場近隣の清掃も行っております。今後も、地域に愛される企業として、積極的に環境美化活動を継続していきます。



名古屋港管理組合清掃活動

令和2年7月豪雨(岐阜県・下呂市)への支援(義援金)

2020年7月に豪雨災害に見舞われた岐阜県下呂市に向け、7月15日~27日にかけて従業員に支援(義援金)の呼びかけをいたしました。

当社従業員から集まった義援金の総額173,491円と当社からの義援金、合わせて300,000円を「下呂市ふるさと寄附」を通して寄附しました。

